



なつのがくも



本校ホームページ
携帯・スマホ用サイト
でもご覧ください。

第132号 (R2. 8. 25)

練馬区立光が丘夏の雲小学校

なにせ この世は周り物、笑い顔すりゃ 笑い顔

校長 牧野 光 洋

暑くて短い夏休みが終わりました。元気な声が校舎内に響き渡り2学期が始まりました。通年ですと、夏休みがあと一週間、恒例のラジオ体操を校庭で行っている時期ですね。

今学期も仲良く、素敵な学校生活を願います。さて、さあ、よくお友達同士喧嘩をしている場面に遭遇することがあります。売り言葉に買い言葉とよく言われます。何か問題が起こった時など、意を決して謝りに行ったところが、あまりにひどいことを言われて、逆にさんざん喧嘩して帰って来てしまった、などという話もよく聞きます。

そうかと思えば、苦情や文句を言いに行ったら^{いんぎん}慇懃な態度と丁寧な対応に接して、仲良くなりよき理解者もしくはよき協力者になった、などという話も聞いたことがあります。人間関係は鏡のようなもので、こちらがニコニコ笑顔で接すれば、相手もニコニコ、こちらが起こって接すれば、相手も怒り出してまとまる話もまとまらないというわけです。



言い争いや喧嘩になったとき、ひどい言葉を投げ付けられたときなどには、冷静に思い返してみなくてはなりません。ひょっとしたら、こちらが先に何かいやな言葉を発しているかもしれません。なにせ、相手の笑顔を引き出すには、まず自分が笑顔で接することですね。腹が立って文句を言おうとするときに「待て待て、怒り顔すりゃ怒り顔、笑い顔すりゃ笑い顔（が返ってくる）」と思い出してみてください。さらに自分自身を考えると、ニコニコ笑顔で優しく接してもらうのが大好きなのですから、相手にも是非ともニコニコ笑顔で接しなくてはなりません。日常の人間関係

では相性ということがよく言われます。あの人とこの人とは相性が良いが、この人とこの人とは相性が悪いなどですね。同じ人に対して、仲良く付き合える人もいれば、付き合えない人もいるというのはよく考える必要があります。宝石の原石のように一人の人間にも、いろいろな切り口があります。ある面で切ると、ピカピカ光った美しい面、優しい人柄が見えてきますし、別の面で切ると、美しい面が少なく、自分勝手だったりします。その人のどの面を引き出し、どの面でお付き合いをするかによっても、相性が変わる可能性があります。「あの人嫌いだ！相性が悪い！」と、いきなり決め付けずに相手の良い面を互いに引き出してその面でお付き合いをする。相手の悪い面を引き出さないようにするというのも、人付き合いのコツではないでしょうか。

2学期が始まり、先が見通せず不安な生活が目前に広がっています。このような時だからこそ、優しい心、清らかな心に満ちあふれる生活をと願います。まずは元気な挨拶です。「その瞬間 刹那刹那が一生一度」奈良の薬師寺で聴いた言葉です。「ありがとう！」「おはよう！」感謝の言葉がけが、私たちの心の畑を美しくしてくれます。新しい学期が始まり、10月24日には光が丘夏の雲小学校の10歳のお誕生会が開催されます。児童の皆さんもその準備に取りかかっています。さらには周年実行委員会を中心に地域の皆様、卒業生の保護者の皆様が一体となって、素晴らしい式にとお力をいただいております。感謝の一言です。清浄心を育てて参りましょう。

